

学校通信

けやき小

教育目標 確かな一歩



令和2年10月30日
西東京市立けやき小学校



体育発表会

校長 黒羽 次夫

例年であれば運動会を実施するところですが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響で体育発表会を行いました。この体育発表会の実施までには、様々な検討を重ねてきました。どのような形で実施するか悩みました。その中で第一に考えたのは、日頃の体育学習の成果を発表する場とすることでした。全校児童が集まっては実施できないのですが、何とか学習の成果を保護者の皆様にお見せしたいという思いで今回のような学年ごとの発表会にしました。種目は、これまで取り組んできた長縄跳びとリレーにしました。クラス対抗の形をとって子供たちの意欲を高めたいというねらいもありました。2・4・6年が実施した日は、雨のためアリーナで長縄跳びのみの開催になりました。しかし、どのクラスもこれまでの最高記録が出るなど、日頃の学習の成果が出ていました。体育発表会には、多くの保護者の皆様にご参観いただきました。新型コロナウイルス感染症の影響で今年度初めての授業公開でした。子供たちの授業の様子はいかがだったでしょうか。また、クラスで一つのことをやり抜くことで一致団結した姿も見られました。更にうれしいことに、長縄に引っかかってしまった子に対してもその子を責めない子供たちの態度がありました。この長縄跳びを通して、例年にはない成果がありました。雨天で実施できなかったリレーも10月には実施し、平日にもかかわらず多くの保護者の方々の参観があり、大変盛り上がりました。

今回の体育発表会では、アンケートという形で保護者の皆様からもご意見やご感想をいただきました。今回の体育発表会の取組について多くの肯定的なご意見をいただきました。誠にありがとうございました。その中で、校長の挨拶がないというご意見をいただきました。校長の挨拶を当日入れるかどうかについては考えましたが、2種目を実施することから時間のことを考えて削除しました。当日は雨天のため1種目となり時間の余裕はありましたが、急なプログラムの変更を避けたことからご挨拶ができずに大変失礼いたしました。この場をお借りしてお詫びいたします。

ここで、9月26日の体育発表会当日の朝のエピソードを紹介します。私が出勤すると、雨の降る中校庭を均したり、ラインを引いたりしている職員の姿がありました。雨が止んだらいつでも校庭でできるように準備していました。職員の子供たちに何とかやらせてあげたいという気持ちが伝わってきました。

今回の体育発表会は、新型コロナウイルス感染症が収束した後の新しい行事のあり方を考えるヒントになりました。明日10月31日には、1・3・5年生の体育発表会があります。保護者の皆様には、ぜひ子供たちの頑張りをご覧いただきたいと思います。そして、子供たちに大きな拍手をいただけたら幸いです。

11月の行事予定

今月の生活目標

時間を守って行動しよう

A 8時15分登校 B 8時30分登校

2 (月)	安全指導 A 2・4・6年 B 1・3・5年	16 (月)	A 2・4・6年 B 1・3・5年
3 (火)	文化の日	17 (火)	A 2・4・6年 B 1・3・5年
4 (水)	就学時健診 A 2・4・6年 B 1・3・5年	18 (水)	避難訓練 A 2・4・6年 B 1・3・5年
5 (木)	A 2・4・6年 B 1・3・5年	19 (木)	A 2・4・6年 B 1・3・5年
6 (金)	A 2・4・6年 B 1・3・5年	20 (金)	A 2・4・6年 B 1・3・5年
9 (月)	A 1・3・5年 B 2・4・6年	23 (月)	勤労感謝の日
10 (火)	A 1・3・5年 B 2・4・6年	24 (火)	A 1・3・5年 B 2・4・6年
11 (水)	委員会活動③ A 1・3・5年 B 2・4・6年	25 (水)	5年学力調査(国語・算数) クラブ③ A 1・3・5年 B 2・4・6年
12 (木)	A 1・3・5年 B 2・4・6年	26 (木)	A 1・3・5年 B 2・4・6年
13 (金)	A 1・3・5年 B 2・4・6年	27 (金)	A 1・3・5年 B 2・4・6年
14 (土)	土曜授業③ 4時間授業 (2・4・5年音楽発表会) (2・4・5年けやきミュージアム) A 2・4・6年 B 1・3・5年	30 (月)	A 2・4・6年 B 1・3・5年

11月スクールカウンセラー来校日

10日(火) ・ 24日(火) お気軽にご相談ください。予約は、担任または副校長・養護教諭までお願いします。

いつも体育の時間におけるお子様の健康な体づくり、安全管理へのご協力をありがとうございます。寒さが本格化してきました。冬期の体育の授業における服装についてお知らせします。

① 基本の服装【上：白の半袖 下：紺の短パン 赤白帽子着用】

② タイツ・レギンスなどは脱ぐ。(靴下は膝より下の位置)

③ 上着について

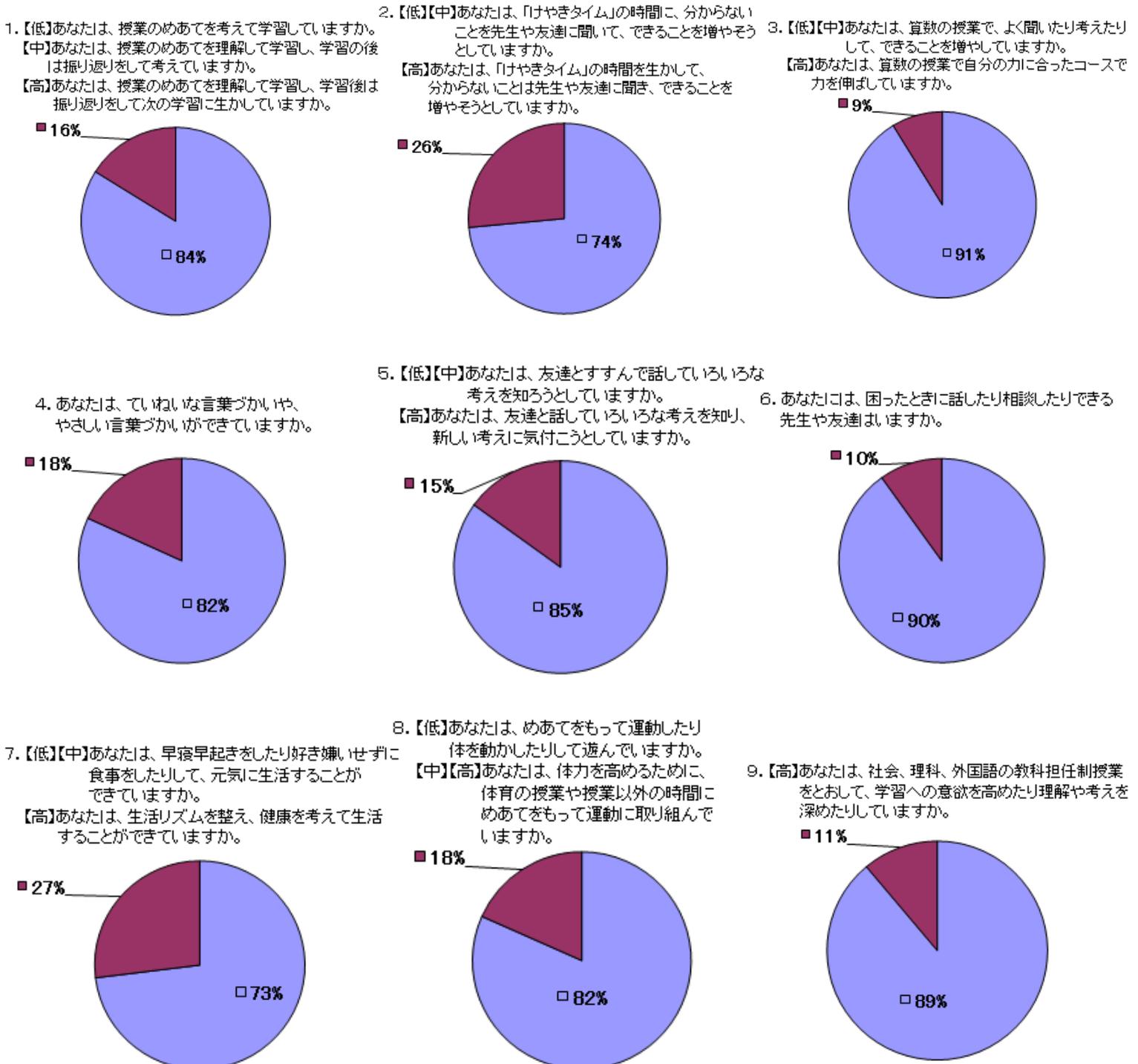
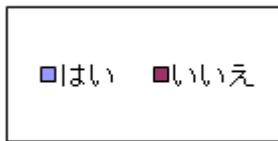
- ・普段着ているものではなく、体育用に用意したトレーナー・ジャージまたは長袖シャツを着る。
- ・ジャージ類でジッパーが付いている物は安全上ジッパーを上まで閉める。
- ・フード、ボタン、ひも、装飾等が付いたものやタートルネックの着用は安全面から禁止する。
- ・上着もズボンに入れる(授業で着用するゼッケンなども安全上ズボンに入れる)。
- ・準備運動などを行い、体が温まってきたら随時上着を脱ぐ。

※体育の授業では衛生上、上半身の下着を脱ぐように指導しておりますが、中学年以上の女子につきましては、体の成長段階を考慮して下着を着用しても差し支えありません。その際、体育着から柄が透けないようなものをご用意ください。

令和2年度 第1回「けやき小学校生活アンケート」結果のお知らせ

令和2年度 第1回「けやき小学校生活アンケート」(児童アンケート)の集計結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

回収率99.8% (回収人数638人)



学校評価の報告について

10月19日に学校運営連絡協議会が開かれました。学校通信10月号に掲載した第1回「けやき小学校教育アンケート」の結果や今回掲載した第1回「けやき小学校生活アンケート」の結果を基に「課題と対策」を示しました。

令和2年度 西東京市立けやき小学校 学校評価報告書（第1回）		
学校教育目標	・なぜだろうどうなるだろうと、深まる学びづくりに向けて（課題解決力育成）	
確かな一歩	・自分を大切にし、他の人も大切に思いやる心づくりに向けて（人間関係形成力育成） ・規則正しく生活し、たくましく健やかな体づくりに向けて（実践力育成）	
	目標達成のための具体的方策	課題と対策
課題解決力の育成	・授業におけるユニバーサルデザイン化を図り、「けやきモデル」を徹底する。	「あなたのお子さんは授業のめあてを理解しているか」「意欲的に活動しているか」「まどめたり振り返ったりしているか」と尋ねる設問に対し、授業公開がなく、保護者がそれらを見取れず肯定的評価をすることができなかったと考えられる。成果物や通知表、児童から保護者への口頭伝達を通して指導の効果を分かりやすく伝えていく。
	・全学年で「けやきテスト」を実施し、各教科の習熟状況の分析を行い、個に応じた指導を実施する。	9月に「けやきテスト」を実施した結果、平均正答率が昨年度より数ポイント低下した。これは、コロナ禍による臨時休校が少なからず影響していると考えられる。各学年で分析を行い、計画的に朝学習等で東京ベーシック練習シートやショートドリルに取り組むことで基礎的・基本的内容の確実な定着を図っていく。1月に「けやきテスト」を再度実施し、習熟状況を検証する。
	・「けやきタイム」の充実を図り、個別指導の工夫とともに補充指導及び発展指導を実施する。	年間指導計画を確認しながら、学習内容の定着を図っていく。「けやきタイム」や補充指導等について学年便りや保護者会を通して、各家庭にも取り組みを紹介していく。
	・算数科において習熟度別指導等の充実を図り、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図り、思考力・判断力・表現力を育成する。	習熟度別学習に対する児童の肯定的な回答は、96.4パーセントであった。自分にあったコースで学習できる習熟度別算数が、児童の安心感や自ら学ぶ意欲を引き出すことにつながっていると考えられる。今後引き続き、個に応じた指導の充実を図る観点から、児童の能力・興味・関心等に応じてさらに学習を広げたり、進めたりしていく。また、習熟の程度が十分でない児童については、少人数のグループ編成を行い、きめ細かく指導していく。
	・第5・6学年において教科担任制を導入し、指導の充実を図る。	今年度から開始された制度で、保護者や児童の中に意義や効果が十分に浸透しているとは言いきれない。教材研究を深め、より良い授業を展開し、学力の定着を目指し、児童の変容を通してその効果を伝えていく。
	・田無第三中学校と連携を進め、授業改善を図る。	今年度はコロナ感染予防対策による影響で、田無第三中学校との授業・体験交流等は中止となった。10月に、昨年度までの小・中連携に関わる取り組みについて確認するとともに、互いの児童・生徒の情報を共有した。
人間関係形成力の育成	・場に応じた正しい言葉遣いや相手の立場に立った思いやりのある言葉遣いへの意識を高めるために、教職員が手本となって言語環境を整える。	場に応じた正しい言葉遣いについては保護者からも肯定的な評価をいただいた。「西東京市子ども条例」や「西東京あったか先生」にもあるように、教師自らが児童の手本となるような言葉遣いを心がけ、児童を呼名する際は絶対に呼び捨てをしない。児童自らが気持ちの良い挨拶、思いやりのある言動、返事等ができるように教育活動全体を通して指導し、言語環境を整えていく。
	・グローバルな社会を生き抜くために、異なる考えをもつ他者とのかかわりや対話を重視した教育活動を展開する。	自己を大切にすることと同じように他者も尊重できる姿勢をより一層身に付けさせていく。多様性についても児童の実態に合わせて指導していく。授業では、意図的に他者とのかかわりや対話の時間を設け、自己の考えと他者の考えの違いや共通点に気付かせたり、多様な考えがあることの良さに気付かせたりするようにしていく。
	・学校いじめ基本方針に基づき、全校でいじめ防止に取り組む。	学校ではいじめ防止研修を行い、いじめの定義や防止等について共通理解を図った。今後もいじめを生み出さない学級及び専科経営を続け、いじめに対して組織的に対応し、早期発見・早期解決を目指していく。年3回のふれあい月間を活用して、いじめに関する授業を行う中で、児童がいじめを自分事として考えるようにしていく。
実践力の育成	・生活リズムカードを活用し、家庭と連携しながら「早寝・早起き・朝ごはん」など基本的な生活習慣の定着を図る。	生活習慣の乱れからか、元気のない様子や眠そうにしている児童が見受けられる。基本的な生活習慣を身に付けるためには、学校だけでなく家庭の協力も必要である。本年度はコロナの影響により健康観察表を活用して家庭との連携を図っている。今後は、生活リズムカードも一定期間併用し、児童の健康及び生活習慣の改善に努めていく。
	・体力向上を図るため、体力・運動能力調査の結果を分析し、体育の授業改善や年間を通じた体力づくりの取組の充実を図る。	今年度は、体力・運動能力調査が中止されたため、本項目について教員は評価できなかった。コロナ禍の中、行事の実施や学校公開、体育の授業や体育的活動が制限される中であるが、体力づくりの取組の工夫をさらに図っていく。
	・計画されている年間35時間程度のオリンピック・パラリンピック教育を確実に実施する。	各学年において、年間指導計画を確認しながら教員の共通理解を図る。保護者の方にも、オリンピック・パラリンピック教育の取り組みについて、学年通信等で情報を発信していく。
働き方改革	・業務の精選及び見直しを図り、教職員がゆとりをもって児童の指導に当たれるようにする。	一人一人が働き方改革を意識して計画的な業務遂行に努めることで、在校時間が昨年度と同調査期間（6月）と比べて減少した。今後は、行事の精選など新たな生活様式を踏まえた学校の在り方を検討して改善を図ることで、教員の児童に関わる時間の確保や教職員が創造性を発揮できる環境を整えていく。